

## 4. 各報告書の詳細

分析結果報告書確認表示用の画面はA4用紙印刷を考慮し、小さめにレイアウトされています。

入力方法の共通的な部分は、前記の表3-4.1「各分析結果報告書の共通事項」として、「分析主担当者」、「分析主担当者の経験年数」、「分析主担当者の実績（年間の分析試料数）」、「分析（主）担当者以外の分析結果の確認」の入力方法を示しています。

また、以下に共通的な事項（注意点等）を示します。

### ○分析経験等

分析経験については、分析主担当者による分析経験について、該当するものを選択してください。

### ○分析条件等

適用している分析方法や分析機器等によっては、記入が不要な部分、記入が難しい部分等があると考えられますので、そのような場合には記入する必要はありません。

複数回測定（併行測定）では、1回目の分析条件を記入します。ただし、試料の指示値（吸光度等）等については、測定回数分を記入する場合があります。

### ○指示値

指示値としては、吸光度、ピーク高さ、ピーク面積等があり、内標準法ではその比（例えばピーク面積比）もあり、またそれらの比例値もあり、このように各種のものがあります。記入にあたっては、いずれの値も可能ですが、内標準法の場合は、対象物質及び内標準物質の比では無く、各々のピーク面積等をご記入下さい。

ただし、指示値の記入欄には、検量線の最高濃度、試料、空試験の3つ（3か所）あり、記入にあたっては3か所とも同じ種類（単位）のものとしてください。

### ○分析結果（数値の丸め方）

分析結果については、有効数字3桁としています。数値の丸め方はJIS Z 8401に従ってください。

分析結果は必須項目です。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件でエラーメッセージ（例えば、「分析結果・・・の検出下限値以上または検出下限値未満での検出下限値のいずれかは必須項目です。該当する値を入力して下さい。」）が表示され、確定できませんので、ご注意ください（前記3-9参照）。

### ○分析方法

分析方法も必須項目です。選択されていないとエラーメッセージが表示され、確定できませんので、ご注意ください（前記3-9参照）。

### ○報告書の確定

ホームページでは期限内に報告書の確定を必ず行ってください（「報告書一覧表」から確定したい「報告書」を選択して、「報告書確定」をクリックしてください）。「報告書確定解除」を行った場合も、修正等の後には必ず「報告書確定」を行ってください。詳細は、前記3-8を参照ください。

### ○アンケート

ホームページから分析結果報告書を作成する機関を対象とした「ホームページによる分

析結果報告書の作成方法に関するアンケート」及び調査参加機関を対象とした「環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケート」を実施しますので、ご協力をお願いいたします。アンケートの記入方法は、後記4-8に示しています。

#### 4-1. 分析結果報告書〔0〕 検液の作製

土壌試料に関する分析結果報告書〔0〕の入力方法の詳細を記します。

表4-1 土壌試料（検液の作製）（分析結果報告書〔0〕）

含水率	
分析結果	数値（半角）入力。1～3回の結果の平均値を記入。 単位：試料中の水分量を%として記入する。
<試料受領から分析開始までの日数>	
分析開始までの試料保存日数（鉛）	数値（半角）入力。単位：日。
分析開始までの試料保存日数（砒素）	数値（半角）入力。単位：日。
<分析結果>	
鉛分析用（風乾重量）	数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。風乾重量で記入。単位：g。
砒素分析用（風乾重量）	数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。風乾重量で記入。単位：g。
3回の併行のために下記は1～3回で概略同様であり、1回目を記入する。ただし、試料の指示値については、3回分を記入する。	
試料液の調製	
塩酸 1 mol/L の種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
塩酸 1 mol/Lの使用量 (mL)	数値(半角)入力。単位：mL。
容器の種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
容器の体積 (mL)	数値(半角)入力。単位：mL。
試料液調整後の放置時間	
土壌試料に塩酸溶液を加えてからの溶出操作（振とう）までの放置時間（時間）	数値(半角)入力。単位：時間。時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。なお、試料液の調製後直ちに振とうした場合には0（ゼロ）時間とする。
<溶出（振とう）操作>	
容器の置き方/振とう方向	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
気温（室温）	数値(半角)入力。単位：℃。
気圧	数値(半角)入力。単位：hPa。
振とう機	振とう回数
	数値(半角)入力。単位：回/分。
	振とう幅
	数値(半角)入力。単位：cm。
	振とう時間
	数値(半角)入力。単位：時間。
	方法
	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
振とう後の放置時間	
振とう終了からろ過（又は遠心分離）までの放置時間（時間）	数値(半角)入力。単位：時間。時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。なお、試料液の調製後直ちに振とうした場合には0（ゼロ）時間とする。
<ろ過等>	
遠心分離	実施の有無
	コンボボックスより選択。
ろ過	実施の有無
	コンボボックスより選択。
ろ過の種類メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
型式	具体的に記入。
	方法
	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
<試料液（1 mol/L塩酸溶出液）の調製後>	
振とう終了から測定（各金属の分析）までの時間（時間）	それぞれ数値(半角)入力。単位：時間。時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。なお、試料液の調製後直ちに振とうした場合には0（ゼロ）時間とする。

試料液の保存状況	保存方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
	保存温度	数値(半角)入力。単位：℃。

## 4-2. 分析結果報告書 [1] 鉛及びその化合物

土壌試料に関する分析結果報告書 [1] の入力方法の詳細を記します。

表4-2 土壌試料 (鉛及びその化合物) (分析結果報告書 [1])

<金属分析の経験等>	
廃棄物の重金属成分	コンボボックスより選択。
土壌の重金属成分	コンボボックスより選択。
環境水、排水等の重金属成分	コンボボックスより選択。
<分析結果>	
分析結果	<p>数値(半角)入力。測定回数3回の結果を記入。  単位：mg/kg。乾燥重量1kgあたりのmgとして記入。  検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。  検出下限値未満であった場合はND(半角)と入力。  報告下限値未満であった場合でも、分析結果が検出下限値以上であった場合には、NDとせずに測定された数値をJIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。  分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。</p>
3回の併行のために下記は1~3回で概略同様であり、1回目を記入する。ただし、試料の指示値については、3回分を記入する。	
<分析日数等>	
分析日数	前処理から機器測定までの一連の操作にかかった日数を数値(半角)で入力。
<分析方法等>	
分析方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
測定に使用した水	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
<前処理>	
試料液の分取量	数値(半角)入力。単位：mL。
準備操作(前処理)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
前処理液の溶液(定容量)	数値(半角)入力。単位：mL。
<溶媒抽出等>	
準備操作(溶媒抽出等)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
前処理後の溶液の分取量(溶媒抽出)	数値(半角)入力。単位：mL。
溶媒の種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
キレートの種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
抽出回数	数値(半角)入力。単位：回。
溶媒の使用量(イオン交換樹脂カラム)	回ごとに数値(半角)入力。単位：mL。
種類	具体的に記入。
(キレート樹脂を用いた固相抽出)	
樹脂 種類1	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
種類2	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
試料液のpH調節	数値(半角)入力。
試料液の流下 方法	コンボボックスより選択。
流速	数値(半角)入力。単位：mL/min。
溶出 種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
	数値(半角)入力。単位：mol/L。

濃度 量 回数 最終の定容量 最終溶液（試験溶液）の液性	数値(半角)入力。単位：mL/回。 数値(半角)入力。単位：回。 数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
＜原子吸光法＞	
電気加熱法 注入量 注入の方法 原子化の方法 モディファイアの添加 原子吸光分析装置 バックグラウンド補正	数値(半角)入力。単位：μL。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
＜ICP 発光分光分析法＞	
ろ過等の操作 試験溶液の希釈 希釈倍率 ICP 発光分光分析装置 メーカー 発光部 (光観測方式) 分光部 検出部 バックグラウンド補正 超音波ネブライザーの使用 スプレーチャンバーの材質 測定時間 測定波長 装置メモリー低減対策の実施状況 (バックグラウンド低減対策) 低減方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。希釈しない場合は「1」。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：秒。 数値(半角)入力。単位：nm。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
＜ICP-MS＞	
ろ過等の操作 試験溶液の希釈倍率 ICP質量分析装置 メーカー スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計 コリジョン・リアクションセル 「行った」場合の使用ガスの種類 「行った」場合の使用ガスの流量 補正式による補正  その他 超音波ネブライザーの使用 スプレーチャンバーの材質 装置のメモリー低減対策の実施状況 (バックグラウンド低減対策) 低減方法 使用する洗浄液の種類 積分時間（質量数毎） 質量数	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。希釈しない場合は「1」。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL/min。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。 コンボボックスより選択。「2. 行った」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：秒。 数値(半角)入力。
標準物質	
標準原液 調整方法 メーカー名等 純度・規格 濃度 調製・購入からの経過月（月）	コンボボックスより選択。 ( ) 具体的に記入。 ( ) 具体的に記入。 濃度は数値（半角）入力。単位：mg/L。 単位：mg/L

検量線用標準液の調整からの経過日	数値(半角)入力。単位：月。 数値(半角)入力。単位：日。
< 検量線の作成等 >	
定量方法 方法 内標準法：内標準物質の種類 検量線 作成点数 作成範囲 最低濃度指示値（平均値） 最高濃度指示値（平均値） 空試験の指示値 試料の指示値 対象物質 内標準物質 装置検出下限値（ILOD） ILODの算出方法 分析法検出下限値（MLOD） MLODの算出方法	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。測定波長、質量数は数値(半角)入力。6. の場合は具体的に記入。 数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。3回分を記入。 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。3回分を記入。 数値（半角）入力。単位：mg/kg。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。濃度、回数は数値 数値（半角）で入力。単位：mg/kg。 数値（半角）入力。単位：mg/L。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。濃度、回数は数値（半角）で入力。
濃度計算に用いた式	150 文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	150 文字以内で簡潔に記入する。

### 4-3. 分析結果報告書〔2〕 砒素及びその化合物

土壌試料に関する分析結果報告書〔2〕の入力方法の詳細を記します。

表4-3 土壌試料（砒素及びその化合物）（分析結果報告書〔2〕）

＜金属分析の経験等＞	
廃棄物の重金属成分	コンボボックスより選択。
土壌の重金属成分	コンボボックスより選択。
環境水、排水等の重金属成分	コンボボックスより選択。
＜分析結果＞	
分析結果	<p>数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。            単位：mg/kg。乾燥重量1kgあたりのmgとして記入。            検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。            検出下限値未満であった場合はND（半角）と入力。            報告下限値未満であった場合でも、分析結果が検出下限値以上であった場合には、NDとせずに測定された数値をJIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。            分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。</p>
3回の併行のために下記は1～3回で概略同様であり、1回目を記入する。ただし、試料の指示値については、3回分を記入する。	
＜分析日数等＞	
分析日数	前処理から機器測定までの一連の操作にかかった日数を数値（半角）で入力。
＜分析方法等＞	
分析方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
測定に使用した水	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
＜前処理＞	
試料液の分取量	数値(半角)入力。単位：mL。
準備操作（前処理）	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
前処理 装置	コンボボックスより選択。
前処理後の溶液（定容量）	数値(半角)入力。単位：mL。
＜水素化物の予備還元等＞	
前処理後の溶液の分取	数値(半角)入力。単位：mL。
予備還元用いた試薬	
塩酸	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。
よう化カリウム溶液	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。
アスコルビン酸	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。
塩化スズ(II)溶液	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。
鉄(III)溶液	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。
その他の試薬	( )は具体的に記入。
予備還元の時間	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。単位：分。
予備還元の温度	(コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。単位：℃。
予備還元時（後）の溶液（定容量）	コンボボックスより選択。
還元剤	
テトラヒドロホウ酸ナトリウム	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。単位：g/L。
亜鉛	コンボボックスより選択。( )は数値（半角）を記入。単位：g。
その他	( )は具体的に記入。
水素化物の導入方法（連続式の場合）	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光度法	
試料量	( )は数値（半角）を記入。単位：mL。

測定波長	( )は数値(半角)を記入。単位: nm。
＜水素化物発生原子吸光法＞	
原子吸光分析装置	
水素化物の導入	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
バックグラウンド補正	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
測定波長	数値(半角)入力。単位: nm。
＜水素化物発生 ICP 発光分光分析法＞	
ICP 発光分光分析装置	
メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
発光部(光観測方式)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
分光部	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
検出部	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
バックグラウンド補正	コンボボックスより選択。
測定時間	数値(半角)入力。単位: 秒。
測定波長	数値(半角)入力。単位: nm。
装置メモリー低減対策の実施状況	コンボボックスより選択。
(バックグラウンド低減対策) 低減方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
＜ICP質量分析法＞	
ろ過等の操作	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
試験溶液の希釈倍率	数値(半角)入力。希釈しない場合は「1」。
ICP質量分析装置	
メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
スペクトル干渉の低減又は補正	
質量分析計	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
コリジョン・リアクションセル	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
「行った」場合の使用ガスの種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
「行った」場合の使用ガスの流量	数値(半角)入力。単位: mL/min。
補正式による補正	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値(半角)入力。
その他	コンボボックスより選択。「2. 行った」を選んだ場合には、具体的に記入。
超音波ネブライザーの使用	コンボボックスより選択。
スプレーチャンバーの材質	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
装置のメモリー低減対策の実施状況	
(バックグラウンド低減対策)	コンボボックスより選択。
低減方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
使用した洗浄液の種類	( )は具体的に記入。
積分時間(質量数毎)	数値(半角)入力。単位: 秒。
質量数	数値(半角)入力。
標準物質	
標準原液	
調整方法	コンボボックスより選択。
メーカー名等	( )具体的に記入。
純度・規格	( )具体的に記入。
濃度	濃度は数値(半角)入力。単位: mg/L。
調製・購入からの経過月(月)	単位: mg/L
検量線用標準液の調整からの経過日	数値(半角)入力。単位: 月。 数値(半角)入力。単位: 日。
＜検量線の作成等＞	
定量方法	方法
内標準法: 内標準物質の種類	コンボボックスより選択。
検量線	作成点数
	作成範囲
	最低濃度指示値(平均値)
	コンボボックスより選択。測定波長、質量数は数値(半角)入力。6. の場合は具体的に記入。 数値(半角)入力。整数。 数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。 「ゼロ(0)」は含めない。 数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単

最高濃度指示値（平均値）	位で記入。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。
空試験の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
試料の指示値	
対象物質	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。3回分を記入。
内標準物質	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。3回分を記入。
装置検出下限値（ILOD）	数値（半角）入力。単位：mg/kg。
ILODの算出方法	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。濃度、回数は数値（半角）で入力。
分析法検出下限値（MLOD）	
MLODの算出方法	数値（半角）入力。単位：mg/L。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。濃度、回数は数値（半角）で入力。
＜検量線の作成等＞	
定量方法 方法	コンボボックスより選択。
内標準法：内標準物質の種類	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
検量線 作成点数	数値（半角）入力。整数。
作成範囲	数値（半角）入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最高濃度の指示値	数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。
試料の指示値	
対象物質	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。3回分を記入。
内標準物質	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。3回分を記入。
空試験の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
装置検出下限値（IDL）	数値（半角）入力。単位：mg/L。
IDLの算出方法	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
分析法検出下限値（MDL）	
MDLの算出方法	数値（半角）入力。単位：mg/L。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
試料の保存状況	
保存状況	
保存方法等	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
保存時間	数値（半角）入力。単位：時間。
保存温度	数値（半角）入力。単位℃。
濃度計算に用いた式	150文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。



#### 4-4. 分析結果報告書 [3] 農薬

模擬水質試料に関する分析結果報告書 [3] の入力方法の詳細を記します。

表4-4 模擬水質試料（イプロベンホス、フェニトロチオン及び参照項目8項目）（分析結果報告書 [3]）

＜農薬分析の経験等＞	
環境水・地下水・土壌の農薬成分	コンボボックスより選択。
水道水の農薬成分	コンボボックスより選択。
食品の農薬成分	コンボボックスより選択。
＜分析結果：詳細項目＞	
分析結果	実施要領の希釈方法に従って、共通試料2を水で1000倍希釈して調製した分析用試料中の濃度(μg/L)を記入する。測定回数分の分析結果を記入する。JIS Z 8401 によって数値を丸めて有効数字3桁で報告する。 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。 検出下限値未満であった場合、NDと記入する。 報告下限値未満であった場合でも分析結果が検出下限値以上であった場合には、NDとせずに測定された数値を記入する。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。
＜分析用試料の作成＞	
希釈に使用した水	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
希釈方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
分析用試料が含有する有機溶媒濃度	数値(半角)入力。単位：%
＜分析方法等＞	
分析開始日	コンボボックスより選択。
分析終了日	コンボボックスより選択。
保存日数	数値(半角)入力。単位：日
分析に要した日数	
前処理(日)	数値(半角)入力。単位：日
機器分析(日)	数値(半角)入力。単位：日
分析方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
分取した共通試料2の量(mL)	数値(半角)入力。単位：mL。
＜前処理＞	
抽出操作の有無	コンボボックスより選択。
試料量(平均値)(mL)	数値(半角)入力。単位：mL。
試料からの抽出方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
溶媒抽出	
塩化ナトリウム(%)	数値(半角)入力。単位：%
溶媒の種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
抽出回数(回)	数値(半角)入力。単位：回
溶媒量(mL)	数値(半角)入力。単位：mL
洗込の回数(回)	数値(半角)入力。単位：回
固相抽出	
固相の形状	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
充填剤の種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
洗浄溶媒	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
コンディショニング溶媒	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
試料通液方法	コンボボックスより選択。

試料通液速度 (mL/min)	数値(半角)入力。単位：mL/min
試験試料容器の洗い込み	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
洗い込み溶媒	コンボボックスより選択。
洗い込み回数	コンボボックスより選択。
試料通液した固相の洗浄	コンボボックスより選択。
洗浄溶媒の種類	コンボボックスより選択。
洗浄溶媒量	数値(半角)入力。単位：mL。
固相の脱水・乾燥	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
脱水・乾燥方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
脱水・乾燥時間	数値(半角)入力。単位：h：時間
溶出溶媒	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
溶出溶媒量	数値(半角)入力。単位：mL。
溶出液の脱水	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
濃縮操作	コンボボックスより選択。
定容量 (mL)	数値(半角)入力。単位：mL
クリーンアップ操作 実施の有無	コンボボックスより選択。
クリーンアップ方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
<b>&lt;GC/MS&gt; (該当する場合に記入する)</b>	
GC メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
MS メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
装置型式	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
イオン化法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
イオン検出法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
カラム カラム名	( )は具体的に記入。
内径	数値(半角)入力。単位：mm。
長さ	数値(半角)入力。単位：m。
膜厚	数値(半角)入力。単位：μm。
昇温条件	
初期温度	数値(半角)入力。温度の単位：℃、温度保持の単位：分
1回目の昇温	数値(半角)入力。速度の単位：℃/分。到達温度：℃。温度保持:分。
2～5回目の昇温	「2回目～5回目の昇温」も1回目の昇温と同様に入力。
5回以上の昇温/昇温回数	同様に入力の上で、回数を数値(半角)で入力。
注入	
注入量 (μL)	数値(半角)入力。単位：μL。
注入口温度 (℃)	数値(半角)入力。単位：℃。
注入方式	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
キャリアーガス条件	
種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
制御モード	コンボボックスより選択。
流量 (mL/分)	数値(半角)入力。単位：mL/分。
<b>&lt;GC&gt; (該当する場合に記入する)</b>	
GC メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
検出器種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
カラム カラム名	( )は具体的に記入。
内径	数値(半角)入力。単位：mm。
長さ	数値(半角)入力。単位：m。
膜厚	数値(半角)入力。単位：μm。
昇温条件	
初期温度	数値(半角)入力。温度の単位：℃、温度保持の単位：分
1回目の昇温	数値(半角)入力。速度の単位：℃/分。到達温度：℃。温度保持:分。
2～5回目の昇温	「2回目～5回目の昇温」も1回目の昇温と同様に入力。
5回以上の昇温 昇温回数	同様に入力の上で、回数を数値(半角)で入力。
注入	

注入量 (μL) 注入口温度 (°C) 注入方式	数値(半角)入力。単位：μL。 数値(半角)入力。単位：°C。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
キャリアーガス条件 種類 制御モード 流量 (mL/分)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：mL/分。
<b>&lt;LC/MS&gt; (該当する場合に記入する)</b>	
LC メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
MS メーカー 装置型式 イオン化法 イオン検出法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
分離カラム タイプ 基材 名称 メーカー名 充填剤官能基 内径 (mm) 長さ (mm) 粒子径 (μm)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 ( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mm。 数値(半角)入力。単位：mm。 数値(半角)入力。単位：μm。
ガードカラム 名称 内径 (mm) 長さ (mm) 粒子径 (μm)	( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mm。 数値(半角)入力。単位：mm。 数値(半角)入力。単位：μm。
カラム温度 (°C)	数値(半角)入力。単位：°C。
移動相 A液 B液 混合条件 混合比率 初期条件 流速 (mL/min)	コンボボックスより選択。数値(半角)入力。6. その他の( ) は具体的に記入。 数値(半角)入力。時間の単位：min、%Bの単位：%。 「2回目～5回目のグラジエント」も1回目の昇温と同様に入力。 数値(半角)入力。時間の単位：mL/min。
注入量 (μL)	数値(半角)入力。単位：μL。
<b>&lt;定量用質量数及び確認用質量数&gt;</b>	
イプロベンホス フェニトロチオン	すべての物質において定量用質量数及び確認用質量数を数値 (半角) 入力。数値：m/z。
<b>&lt;標準液の作成：イプロベンホス&gt;</b>	
標準原液 調製方法 メーカー名 純度・規格 使用時の濃度保証 調製溶媒 調製・購入からの経過月	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：月。
検量線作成用標準液 調製方法 検量線作成用標準液に含まれる農 薬の種類数 調製溶媒 調製からの経過日	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：種類 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入 数値(半角)入力。単位：日
<b>&lt;内標準液の作成：イプロベンホス&gt;</b>	
内標準物質 内標準物質名	コンボボックスより選択。 ( )は具体的に記入。

調製方法 メーカー名 純度・規格 濃度 (µg/mL) 調製溶媒 調製・購入からの経過日 (日)	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:µg/mL。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。単位:日。
サロゲート内標準の作成：イプロベンホス	
サロゲート内標準物質 サロゲート内標準物質名 調製方法 メーカー名 純度・規格 濃度 (µg/mL) 調製溶媒 調製・購入からの経過日 (日)	コンボボックスより選択。 ( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:µg/mL。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。単位:日。
<標準液の作成：フェニトロチオン>	
標準原液 調製方法 メーカー名 純度・規格 使用時の濃度保証 調製溶媒 調製・購入からの経過月	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:月。
検量線作成用標準液 調製方法 検量線作成用標準液に含まれる農薬の種類数 調製溶媒 調製からの経過日	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：種類 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入 数値(半角)入力。単位：日
<内標準液の作成：フェニトロチオン>	
内標準物質 内標準物質名 調製方法 メーカー名 純度・規格 濃度 (µg/mL) 調製溶媒 調製・購入からの経過日 (日)	コンボボックスより選択。 ( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:µg/mL。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。単位:日。
サロゲート内標準の作成：フェニトロチオン	
サロゲート内標準物質 サロゲート内標準物質名 調製方法 メーカー名 純度・規格 濃度 (µg/mL) 調製溶媒 調製・購入からの経過日 (日)	コンボボックスより選択。 ( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 ( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:µg/mL。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。単位:日。
<検出下限値及び定量下限値> (イプロベンホス、フェニトロチオン共通)	
装置検出下限の算出 装置検出下限値 (µg/L) 算出方法	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位:µg/L。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
装置検出下限値の試料換算値	数値(半角)入力。単位:µg/L。
分析法検出下限値の算出 分析法検出下限値 (µg/L)	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位:µg/L。

算出方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
分析法定量下限値の算出 分析法定量下限値 (µg/L) 算出方法	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位:µg/L。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
＜検量線の作成＞ (イプロベンホス、フェニトロチオン共通)	
定量方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
内標準法 内標準物質の種類 内標準物質の添加量 (ng) 内標準の指示値 (平均)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:ng。 数値(半角)入力。単位:なし
サロゲート内標準法 内標準物質の種類 内標準物質の添加量 (ng) 回収率 (%)	( )は具体的に記入。 数値(半角)で入力。単位: ng 数値(半角)で入力。単位: %
検量線 作成点数 作成範囲 最低濃度指示値 (平均) 最高濃度指示値 (平均) 検量線の種類	( )は具体的に記入。 数値(半角)で入力。単位: µg/L 数値(半角)で入力。単位: なし 数値(半角)で入力。単位: なし コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
濃度計算に用いた式	150 文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。
＜分析結果：参照項目＞	
分析結果(µg/L)	実施要領の希釈方法に従って、共通試料 2 を水で 1000 倍希釈して調製した分析用試料中の濃度(µg/L)を記入する。測定回数分の分析結果を記入する。JIS Z 8401 によって数値を丸めて有効数字 3 桁で報告する。 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字 3 桁で記入する。 検出下限値未満であった場合、ND と記入する。 報告下限値未満であった場合でも分析結果が検出下限値以上であった場合には、ND とせずに測定された数値を記入する。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1 回測定の場合には、「1 回目の分析結果」欄に記入し、「2～5 回目の分析結果」欄は記入しない。
＜分析の種類等：参照項目＞	
分析方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
用いたシステム	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
＜分析の種類等：定量用イオン質量数及び確認用イオン量数＞	
すべての物質において定量用質量数及び確認用質量数を数値 (半角) 入力。数値: m/z。	
＜分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点＞	
150 文字以内で簡潔に記入する。	

#### 4-5. 分析結果報告書 [4] PCB (詳細項目)

底質試料に関する分析結果報告書 [4] の入力方法の詳細を記します。

表4-5 底質試料 (PCB) (分析結果報告書 [4])

<PCB分析の経験等>	
環境水・地下水・土壌のPCB	コンボボックスより選択。
水道水のPCB	コンボボックスより選択。
食品のPCB	コンボボックスより選択。
<含水率>	
含水率	有効数字3桁で記入。単位：%
<試料量>	
試料量 (風乾重量)	数値(半角)入力。単位：g
<分析結果>	
分析結果	実施要領5(2)の分析結果の表示方法に従って、底質試料1 kgあたりのμg (単位：μg/kg)。数値(半角)入力。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。
<機器測定結果>	
定量したピーク数	数値(半角)入力。単位：本
ΣCB1	数値(半角)入力。単位：%
ΣCB0	数値(半角)入力。単位：%
未同定PCBピークの取り扱い	コンボボックスより選択。
保持時間のズレの総和	数値(半角)入力。単位：分
<分析方法等>	
分析開始までの試料保存日数	数値(半角)入力。単位：日
分析日数	数値(半角)入力。単位：日
準拠した分析方法 (複数選択可)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
機器測定方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
<前処理・抽出方法>	
抽出方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
アルカリ分解～ヘキサン振とう抽出	
KOH/エタノール濃度	数値(半角)入力。単位：g/mL
試料1g当たりのKOH/エタノールの使用量	数値(半角)入力。単位：mL
分解温度	数値(半角)入力。単位：℃
分解時間	数値(半角)入力。単位：時間
振とう抽出回数	数値(半角)入力。単位：回
振とうを行った総時間	数値(半角)入力。単位：分
抽出溶媒の種類 (複数選択可)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
溶媒量	数値(半角)入力。単位：mL
ソックスレー抽出、高速溶媒抽出	
抽出温度	数値(半角)入力。単位：℃
抽出時間	数値(半角)入力。単位：時間
抽出溶媒の種類 (複数選択可)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
溶媒量	数値(半角)入力。単位：mL
液-液抽出	
精製水を使った試料の膨潤	コンボボックスより選択。
振とう抽出回数	数値(半角)入力。単位：回
振とうを行った総時間	数値(半角)入力。単位：分
抽出溶媒の種類 (複数選択可)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
溶媒量	数値(半角)入力。単位：mL
粗抽出液のヘキサン転溶	コンボボックスより選択。

粗抽出液の水洗 ヘキサン/精製水体积比 水洗回数	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：回
エマルジョンの有無 エマルジョン除去処理 エマルジョン除去方法	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
粗抽出液の定容量	数値(半角)入力。単位：mL
<前処理・クリーンアップ方法>	
粗抽出液の分取量	数値(半角)入力。単位：mL
硫酸処理 硫酸処理の回数 1回当たりの硫酸の平均添加量	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：回 数値(半角)入力。単位：mL
硫黄処理 硫黄処理方法	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
シリカゲルカラムクロマトグラフィー シリカゲル含水率 充填量 事前の溶出試験	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：g コンボボックスより選択。
フロリジカラムクロマトグラフィー 充填量 事前の溶出試験	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：g コンボボックスより選択。
多層シリカゲルカラムクロマトグラフィー 積層した充填剤の種類と充填量 事前の溶出試験	数値(半角)入力。単位：g。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。
スルホニルカラムクロマトグラフィー 充填量 事前の溶出試験	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：g。 コンボボックスより選択。
アルミナカラムクロマトグラフィー 充填量 事前の溶出試験	コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：g コンボボックスより選択。
ゲルろ過クロマトグラフィー ゲルろ過カラムの種類 事前の溶出試験	コンボボックスより選択。 ( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。
その他 実施した方法	コンボボックスより選択。 ( )は具体的に記入。
濃縮方法 (複数回答可)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
測定用試料液 定容用溶媒の種類 定容量	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL。
<分析条件>	
GC	
メーカー	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
パックドカラム 充填材の名称 内径 長さ	( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mm 数値(半角)入力。単位：m
キャピラリーカラム カラムの名称 内径 長さ 膜圧	( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mm 数値(半角)入力。単位：mm 数値(半角)入力。単位：μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温	数値(半角)入力。 数値(半角)入力。 数値(半角)入力。

3回目の昇温 4回目の昇温 5回目の昇温 昇温回数	数値(半角)入力。 数値(半角)入力。 数値(半角)入力。 数値(半角)入力。単位：回
注入口 注入量 注入温度 注入方式	数値(半角)入力。単位：μL 数値(半角)入力。単位：℃ コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
キャリアーガス 種類 制御モード 流量	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：mL/分
ECD 検出器温度(℃) 検出器ガスの種類 検出器ガスの流量 メイクアップガスの種類 メイクアップガスの流量	数値(半角)入力。単位：℃ コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL/分 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL/分
MS メーカー 装置型式 イオン検出法 イオン化法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
<標準物質>	
PCB 標準物質の種類	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
サロゲート内標準物質 サロゲート内標準物質の種類 検量線作成用標準液中濃度 試料への添加量	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：μg/mL 数値(半角)入力。単位：ng
シリンジスパイク内標準物質 シリンジスパイク内標準物質の種類 検量線作成用標準液中濃度 試料への添加量	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：μg/mL 数値(半角)入力。単位：ng
サロゲート回収率	数値(半角)入力。単位：%
標準物質メーカー名 PCB (KC-300~KC-600の等量混合物) PCB (塩化ビフェニル~十塩化ビフェニルを各ひとつ以上含む混合物) サロゲート内標準物質 シリンジスパイク内標準物質	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
標準原液の購入からの経過月 PCB サロゲート内標準物質 シリンジスパイク内標準物質	数値(半角)入力。単位：月 数値(半角)入力。単位：月 数値(半角)入力。単位：月
標準液の調製からの経過月 検量線用標準液 サロゲート内標準物質 シリンジスパイク内標準物質	数値(半角)入力。単位：月 数値(半角)入力。単位：月 数値(半角)入力。単位：月
標準液調製溶媒 検量線作成用標準液 サロゲート内標準物質 シリンジスパイク内標準物質	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
<検量線の作成>	



定量方法	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
検量線 作成方法 検量線作成点数 作成範囲濃度 最低濃度指示値 (平均) 最高濃度指示値 (平均)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：点 数値(半角)入力。単位：μg/mL 数値(半角)入力。 数値(半角)入力。
空試験の指示値 (平均)	数値(半角)入力。
試料指示値 PCB サロゲート内標準物質 シリジスバイク内標準物質	数値(半角)入力。 数値(半角)入力。 数値(半角)入力。
装置検出下限値の算出方法 算出用標準液の種類 算出用標準液の濃度 計算方法 繰り返し測定回数	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：μg/mL コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：回
分析法検出・定量下限値の算出 方法 算出用試料の種類 算出用試料の濃度 計算方法 繰り返し測定回数	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：μg/kg コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：回
濃度計算に用いた式	150文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。
＜下限値、空試験値＞	
試料濃度換算装置検出下限値 分析法検出下限値 空試験値	数値 (半角) 入力。試料中の濃度(μg/kg)に換算した値で記入(分析結果と同じ単位とする)。 数値 (半角) 入力。 数値 (半角) 入力。試料中の濃度(μg/kg)に換算した値で記入(分析結果と同じ単位とする)。検出下限値未満の場合は、NDを記入する。
分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。

#### 4-6. 分析結果報告書 [5] 総水銀

底質試料に関する分析結果報告書 [5] の入力方法の詳細を記します。

表4-6 底質試料（総水銀）（（分析結果報告書 [5]））

<b>&lt; 重金属類の経験等 &gt;</b>	
廃棄物の重金属類成分	コンボボックスより選択。
土壌の重金属類成分	コンボボックスより選択。
環境水、排水等の重金属類成分	コンボボックスより選択。
<b>&lt; 含水率 &gt;</b>	
含水率	有効数字3桁で記入。単位：%
<b>&lt; 試料量 &gt;</b>	
試料量（風乾重量）	有効数字3桁で記入。単位：g
<b>&lt; 分析結果 &gt;</b>	
分析結果	有効数字3桁で記入。単位：mg/kg
<b>&lt; 分析開始日等 &gt;</b>	
分析開始までの試料の保存日数	数値（半角）入力。単位：日
機器測定開始までの試験溶液の保存日数	数値（半角）入力。単位：日
分析日数	数値（半角）入力。単位：日
<b>&lt; 分析方法等 &gt;</b>	
分析方法	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
測定に使用した水	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
<b>&lt; 前処理 &gt;</b>	
準備操作（前処理）	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
試薬の添加	
硝酸	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
硫酸	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
過マンガン酸カリウム溶液	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
ペルオキソ二硫酸カリウム溶液	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
塩化ナトリウム溶液	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
硝酸：過塩素酸(1+1)	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
その他の試薬	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
加熱方法	
過剰の過マンガン酸カリウムの分解	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
試験溶液の量（定容量）	数値（半角）入力。単位：mL
<b>&lt; 測定 &gt;</b>	
試料溶液の分取量	数値（半角）入力。単位：mL
試薬の添加	
塩化スズ（Ⅱ）(10%)	数値（半角）入力。単位：mL
硫酸(1+1)	数値（半角）入力。単位：mL
方式	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
<b>&lt; 標準物質 &gt;</b>	
標準物質の種類	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
標準原液	
調製方法	コンボボックスより選択。
メーカー名	( )は具体的に記入。
純度・規格	( )は具体的に記入。
濃度	数値（半角）入力。単位：mg/L
調製・購入からの経過月	数値（半角）入力。単位：月
検量線用標準液の調製からの経過日	数値（半角）入力。単位：日
標準液調製溶媒	
標準原液	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
検量線用標準液	コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
<b>&lt; 検量線の作成等 &gt;</b>	
検量線	

定量方法 検量線作成点数 作成範囲濃度 最低濃度指示値 (平均) 最高濃度指示値 (平均)	コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。 数値 (半角) 入力。単位：点 数値 (半角) 入力。単位：mg/L 数値 (半角) 入力。 数値 (半角) 入力。
空試験 空試験の指示値 (平均)	数値 (半角) 入力。
試料指示値	数値 (半角) 入力。
装置検出下限値 装置検出下限値の算出方法	数値 (半角) 入力。単位：mg/kg コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
分析方法検出下限値 分析方法検出下限値の算出方法	数値 (半角) 入力。単位：mg/kg コンボボックスより選択。( )は具体的に記入。
計算式	150 文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	150 文字以内で簡潔に記入する。

## 4-7. アンケート

○ホームページによる分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

ホームページからの分析結果報告書の作成に関するアンケートについては、分析結果報告書メニュー（図4-7.1参照）の右の[アンケート]ボタンをクリックすると、アンケート内容が表示されます。

アンケートの内容は、試料ごと（3区分）になっています。

報告書一覧表				
	名称	入力状態	チャート状態	アンケート
<input checked="" type="radio"/>	報告書[0]土壌試料(検液の作製)	入力中	-	
<input type="radio"/>	報告書[1]土壌試料(鉛とその化合物)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[2]土壌試料(砒素及びその化合物)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[3]模擬水質試料(農業)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[4]底質試料(PCB)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[5]底質試料(総水銀)	入力中	無し	アンケート
調査に関するアンケート		調査に関するアンケート	入力中	

図 4-7.1 分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

いずれの試料とも、質問はコンボボックスより選択します。「2」を選択した場合には（ ）内には具体的な理由又は内容を記入してください。「確定」等の操作は必要ありません。

分析結果報告書の作成時に感じた点等	1. 良い 2. 改良すべき点、問題点等がある 内容（ ）
-------------------	----------------------------------

○環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケート

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケートについては、分析結果報告書メニュー(図4-7.2参照)の下部[調査に関するアンケート]ボタンをクリックすると、アンケート内容が表示されます。

質問はコンボボックスより選択し、( ) 内には具体的に記入してください。

アンケートは、各機関ひとつの回答となります(試料ごとの回答ではありません)。

「入力状態」については、質問の回答途中では「入力中」、回答が済みましたら「入力済み」と表示されます。「確定」等の操作は必要ありません。

報告書一覧表				
	名称	入力状態	チャート状態	アンケート
<input checked="" type="radio"/>	報告書[0]土壌試料(検液の作製)	入力中	-	
<input type="radio"/>	報告書[1]土壌試料(鉛とその化合物)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[2]土壌試料(砒素及びその化合物)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[3]模擬水質試料(農業)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[4]底質試料(PCB)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[5]底質試料(総水銀)	入力中	無し	
調査に関するアンケート		入力中		

図 4-7.2 分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

機関の区分 (ひとつを選択)	1. 地方公共団体 2. 民間分析機関 (公益法人を含む) 3. その他 ( )
アンケート回答者の担当 業務の区分 (ひとつを選択)	1. 環境測定分析業務の担当者 2. 環境測定分析業務の管理者 3. 環境測定分析委託業務の担当者 (委託する側の担当者) 4. 環境測定分析委託業務の管理者 (委託する側の管理者) 5. その他 ( )
調査に参加する目的 (複数回答可)	1. 信頼性の確保、精度の確認等 2. 分析方法・分析技術・分析機器の確認・改善等 3. 外部精度管理として (入札に対応) 4. 外部精度管理として (ISOに対応等) 5. 他機関との比較・情報交換 6. 職員の教育等 7. その他 ( )

調査の効果 (ひとつを選択)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精度の確認が出きた (できる)</li> <li>2. 分析技術の再確認、向上が出きた (できる)</li> <li>3. 分析者の意識の向上、レベルアップとなった (なる)</li> <li>4. 問題点の検討、課題の確認が出きた (できる)</li> <li>5. 他の機関の動向を知る、また比較が出きた (できる)</li> <li>6. 顧客の信頼とPRになった (なる) (入札資格取得に利用等)</li> <li>7. その他 ( )</li> </ol>
令和2年度調査への参加について (ひとつを選択)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調査試料・測定項目に係らず参加を予定している。</li> <li>2. 希望する調査試料・測定項目が含まれていれば参加する。</li> <li>3. 参加はしない予定である。</li> </ol>
希望する試料・項目	希望する試料・項目 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 試料の形態</li> <li>b. 媒体</li> <li>c. 項目群</li> </ol>
測定試料のあり方について (ひとつを選択)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. このままの調査方法で継続する</li> <li>2. 改善等を行った方がよい。(改善点等: )</li> <li>3. その他 ( )</li> </ol>
成分非開示項目の導入について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境基準・排水基準項目の同定・定量であれば参加を検討する。</li> <li>2. 基準項目以外の物質でも同定までの調査であれば参加を検討する。</li> <li>3. 非開示成分・物質を対象とした調査に関心はない。</li> <li>4. 非開示成分・物質を対象とした調査は統一精度管理調査の中で行うべきではない。</li> <li>5. その他、追加のご意見</li> </ol>
分析結果の解析方法(統計的な手法等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現行のままでよい。</li> <li>2. 改善等を行った方がよい。</li> <li>3. その他</li> </ol>
分析結果の評価・外れ値に対するフォロー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現行のままでよい。</li> <li>2. 専門家による外れ値の精査(分析条件、クロマトグラム等による精査)は必要ない。</li> <li>3. 外れ値に関するアンケート調査は必要ない。</li> <li>4. 改善等を行った方がよい。</li> <li>5. その他</li> </ol>
これからの調査の必要性、あり方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. このままの調査方法で継続する。</li> <li>2. 改善等を行った方がよい。</li> <li>3. その他</li> </ol>
その他 (自由記載)	本調査に関する希望する事項があれば記入してください。 ( )